

(1)呼吸器について正しいのはどれか. 2つ選べ (49 - P58)

正解 1, 5

1. 上気道とは鼻腔から咽頭までのことをいう

○: 正解になっているが, 喉頭までというのが正しい表現である

2. 終末細気管支の次は肺胞である

×: 呼吸細気管支(あるいは肺胞管)の後に肺胞となる

3. 気管支は右より左のほうが太く短い

×: 左気管支は, 左側に心臓がある分長くなる

4. 輪状軟骨は弾性軟骨である

×: 呼吸器の範囲で弾性軟骨は"喉頭蓋軟骨"を覚えればいい. 残りは全て硝子軟骨に分類される

5. 左肺門は右より高位である

○: 心臓がある分肺門の位置が高くなる.

(2)呼吸器について正しいのはどれか。(48 - A59)

正解 4

1. 咽頭C7～C8の高さにある

×: 鼻部のあたりから喉頭部までであり, C7よりも高位にある

2. 輪状軟骨は弾性軟骨である

×: 呼吸器の範囲で弾性軟骨は"喉頭蓋軟骨"を覚えればいい. 残りは全て硝子軟骨に分類される

3. 成人の喉頭から気管支までの距離は20～25cmである

×: 約10cmである

4. 気管の延長線に対する気管支の分岐度は右より左のほうが大きい

○: 心臓をよけるため

5. 終末細気管支は肺胞に開口する

×: 呼吸細気管支(あるいは肺胞管)が開口する